

2024 年度秋季入学
2025 年度春季入学

弘前大学大学院農学生命科学研究科
(修士課程)

学 生 募 集 要 項

【協定校推薦特別選抜】

弘 前 大 学

目 次

弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程

2024年度秋季入学者学生募集要項（協定校推薦特別選抜）

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	1
4. 選抜方法	2
5. 合格発表	2
6. 入学手続等	3
7. 個人情報の取扱い	3
8. その他	3

2025年度春季入学者学生募集要項（協定校推薦特別選抜）

1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願手続	4
4. 選抜方法	5
5. 合格発表	5
6. 入学手続等	6
7. 個人情報の取扱い	6
8. その他	6

研究科案内

1. コース・分野別研究分野の研究内容	7
2. 課程修了の認定及び学位	9
3. 社会人入学者に関する長期履修学生制度などについて	9
4. 海外協定校からの留学生に対する授業料等の免除等措置について	9

◇出願用所定用紙

- ウェブサイトからダウンロードするもの
 - No.1 入学志願票等【協定校推薦特別選抜用】
 - No.2 志望理由書
 - No.3 推薦書
 - No.4 入学確約書
あて名票
- 入試課に請求するもの
 - 検定料払込取扱票

■ 出願予定の方へ ■

――― 入学試験における感染症対応について ―――

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。日頃から、手洗いなどの手指衛生、換気等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。

弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

弘 前 大 学

災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和6年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

令和6年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外となります。）

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、**東日本大震災**（平成23年3月11日発生）及び**令和6年度に災害救助法が適用された地域**で被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有のものに限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

(2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方

(3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

※令和6年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

3. 申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせてください。免除対象と判断された方は、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

諸事情により出願時までに証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類の準備ができ次第、申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

(1) 「入学検定料免除申請書」

(本学ホームページからダウンロード (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>))

(2) 証明書類

① 「罹災証明書」 (コピー可) (上記2の(1)に該当する方)

② 「死亡または行方不明を証明する書類」 (コピー可) (上記2の(2)に該当する方)

③ 「被災証明書」 (コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

※ 入学検定料免除の要件に該当するか判断できない場合 (学資負担者が自己所有する家屋かどうか判断が困難な場合など) には, 追加で証明書類の提出をお願いすることがありますのでご了承ください。

5. 許可または不許可の通知について

(1) 許可者には, 受験票を送付 (インターネット出願の場合は受験票をダウンロード) することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦, 通常の出願を行った後の申請の場合は, 入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)

(2) 不許可者には, 別途通知いたします。

この場合は, 直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は, 払い込みが確認された後となります。)

6. その他

(1) 入学検定料の免除申請の手続き (事前連絡を含む) をせずに検定料を払い込んだ場合は, 検定料の返還はできませんので, ご注意ください。

(2) 令和6年度に災害救助法が適用された地域で被災された場合であっても, すでに出願期間が終了している入学者選抜試験については, 入学検定料の免除はできません。

(3) 入学検定料の免除を許可された方であっても, 申請に虚偽があった場合は, 許可の日にかかのぼってこれを取り消します。その場合は, 直ちに入学検定料を払い込んでください。

(4) 入学料及び授業料の減免等については, 本学の「入学料及び授業料の減免等制度」への申請が別途必要になります。

(5) 本件について, 不明の点がありましたら, 下記にお問い合わせください。

(本件に関する書類提出先・問い合わせ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

【大学院入試担当】 TEL: 0172-39-3973

FAX: 0172-39-3125

弘前大学大学院農学生命科学研究科（修士課程）学生募集要項

◆専攻，コース，分野，研究分野及び入学定員

専攻	コース	分野	研究分野	入学定員
農 学 生 命 科 学	生 物 学	基礎生物	分子細胞遺伝学，植物分子生理学，植物生理学，動物生理・分子進化学，発生・生殖生物学，植物細胞生物学，原生生物微生物学	50名
		生態環境	動物生態学，森林生態学，生物間相互作用学，植物分類学，進化生態学，環境生態学，動物分類学	
	分子生命科学	生命科学	分子生物学，生化学・分子生物学，生化学・分子遺伝学，天然物化学，免疫生物学，動物生理学，細胞分子生物学	
		応用生命	天然物有機化学，環境微生物学，応用微生物学，生化学，植物生化学，微生物化学	
	食料資源学	食料開発	作物育種学，作物ゲノム学，植物遺伝育種学，作物生理学，構成的微生物学	
		生産環境	昆虫生理学，植物病理学，土壌学	
	国際園芸農学	園芸農学	果樹園芸学，家畜飼養学，家畜生理学，農業機械学，蔬菜園芸学，花卉園芸学，作物生態生理学，作物学，リサイクル工学	
	地域環境工学	農業土木・農山村環境	水利環境工学，水利施設工学，農地環境物理学，農地環境保全学，地域環境システム学，基盤造構学，地域環境利用学，地域環境計画学，山地環境保全学	

◆試験実施日程

2024年度秋季入学（2024年10月入学）

選抜方法	出願期間	試験実施日	合格発表日
協定校推薦特別選抜	2024年 4月 1日（月）～4月 5日（金）	（出願書類審査）	2024年 5月16日（木）

2025年度春季入学（2025年4月入学）

選抜方法	出願期間	試験実施日	合格発表日
協定校推薦特別選抜	2024年 6月 3日（月）～6月 7日（金）	（出願書類審査）	2024年 7月18日（木）

弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程

2024年度 秋季入学者 学生募集要項

(協定校推薦特別選抜)

2024年度秋季入学者（2024年10月入学者）の「協定校推薦特別選抜」については、以下により行う。

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
農学生命科学	生物学	若干名
	分子生命科学	
	食料資源学	
	国際園芸農学	
	地域環境工学	

2. 出願資格

次の各号の要件をすべて満たす者とする

- (1) 本学の協定校に在籍又は協定校を卒業した外国人留学生
- (2) 志望するコースと関連する系統の専門教育を受けた者
- (3) 学業成績・人物ともに優れた者として本学の協定校の学長又は学部長（研究科長）から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2024年9月までに修了する見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者又は2024年9月までに修了する見込みの者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認められた者

3. 出願手続

3-1 出願書類等

出願しようとする者は、入学志願票等の所定用紙を、入試課ウェブサイト (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>) からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入すること。

ただし、検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）については、入試課に請求して取り寄せること。

なお、払込取扱票の取扱期間は、出願受付期間初日の1週間前から出願受付期間最終日までとする。

以下の書類を一括取り揃え所定の期日までに提出すること。なお、郵送する場合は書留速達便とすること。

書類の名称等	摘 要	所定用紙
1 入学志願票等	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入すること。 (入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付台紙)	No.1
2 卒業(見込)証明書	出身学校所定のもの	
3 成績証明書(厳封)	出身学校所定のもの	
4 志望理由書	研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、作成すること。	No.2
5 推薦書	協定校の学長又は学部長(研究科長)が作成したもの。	No.3
6 入学確約書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、作成すること。	No.4
7 あて名票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、出願者の住所・氏名を記入すること。	
8 検定料 30,000円	本研究科所定の用紙(本学に請求して取り寄せること。)を用い、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、3-3 外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 *国費外国人留学生については、検定料を必要としないが、在学する大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出すること。	
9 住民票	・日本に在住の者は、市町村発行の「住民票」 ・海外に在住の者は、その国の「戸籍謄本」又は「市民証明書」	

※提出書類のうち、英語以外の外国語で記載されたものについては日本語訳もしくは英訳を添付すること。

3-2 出願期間

2024年4月1日（月）～4月5日（金）

窓口での受付時間は各日とも午前9時～午後5時までとする。郵送の場合、出願期間最終日午後5時必着とする。

3-3 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料 30,000 円を海外の金融機関から送付すること。なお、送金には時間がかかるので早めに手続きし、必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

〈送金関連事項〉

【送金種類】 電信送金
【支払方法】 口座振替
【支払手数料】 依頼人負担
【送金金額】 30,000 円
【送金目的】 検定料

〈送金先〉

【金融機関名】 青森銀行
【支店名】 親方町支店
【口座の種類】 普通
【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町 19
【スワフトコード】 AOMB JPJT
【口座番号】 201-1228599
【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作
【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地
【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合、青森銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金不足となる。この場合検定料を支払ったとは、みなされないので注意すること。

※送金後、送金手続き書類の（写）を他の出願書類と一緒に提出すること。

3-4 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地 （電話）0172-39-3973・3193

3-5 出願上の注意

- (1) 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と電話、e-mail 等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。
- (2) 出願書類に不備のあるものは受理しない。記載事項に記入漏れ、誤記等のないよう十分注意すること。
- (3) 出願後の提出書類の内容変更（コースの変更）は認めない。
- (4) 出願後に現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡すること。
- (5) 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に、学務部入試課へ問い合わせること。

4. 選抜方法

入学者の選考は、入学志願票、卒業（見込み）証明書、成績証明書、志望理由書、協定校の学長又は学部長（研究科長）の推薦書、入学確約書で行う。

5. 合格発表

合格者の受験番号を下記により発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送する。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

- (1) 日時 2024年5月16日（木）午前10時（予定）
- (2) 方法 弘前大学入試情報ホームページに掲載
URL : <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>

6. 入学手続等

(1) 入学手続については、合格者に別途通知する。

(2) 入学料について

入学料 282,000 円 (予定)

※いかなる理由があっても、納付した入学料は返還しない。

※授業料は、年額 535,800 円 (前期分 267,900 円 後期分 267,900 円) (予定) である。

授業料前期分は 5 月 31 日、後期分は 10 月 31 日までに納付すること。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となる。

また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

7. 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとする。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しない。

(2) 欧州経済領域 (EEA) に在住する者は、EU 一般データ保護規則 (General Data Protection Regulation (GDPR)) の適用を受けるため、別に手続きが必要となる。事前に下記連絡先に連絡すること。

GDPR 適用に係る手続きについての連絡先

弘前大学学務部入試課

電話 : 0172-39-3973 , 0172-39-3193

メール : jm3973@hirosaki-u.ac.jp

8. その他

(1) 身体に障害を有する者で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする者は、事前に学務部入試課へ申し出ること。

(2) 弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。

弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程

2025 年度 春季入学者 学生募集要項

(協定校推薦特別選抜)

2025 年度春季入学者（2025 年 4 月入学者）の「協定校推薦特別選抜」については、以下により行う。

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
農学生命科学	生 物 学	若 干 名
	分 子 生 命 科 学	
	食 料 資 源 学	
	国 際 園 芸 農 学	
	地 域 環 境 工 学	

2. 出願資格

次の各号の要件をすべて満たす者とする

- (1) 本学の協定校に在籍又は協定校を卒業した外国人留学生
- (2) 志望するコースと関連する系統の専門教育を受けた者
- (3) 学業成績・人物ともに優れた者として本学の協定校の学長又は学部長（研究科長）から推薦され、合格した場合には入学を確約できる者
- (4) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了する見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了する見込みの者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

3. 出願手続

3-1 出願書類等

出願しようとする者は、入学志願票等の所定用紙を、入試課ウェブサイト (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>) からダウンロードし、A4 判用紙に片面印刷のうえ記入すること。

ただし、検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）については、入試課に請求して取り寄せること。

なお、払込取扱票の取扱期間は、出願受付期間初日の 1 週間前から出願受付期間最終日までとする。

以下の書類を一括取り揃え所定の期日までに提出すること。なお、郵送する場合は書留速達便とすること。

	書類の名称等	摘 要	所定用紙
1	入 学 志 願 票 等	本研究科所定の様式を A4 判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入すること。 (入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付台紙)	No.1
2	卒業（見込）証明書	出身学校所定のもの	
3	成績証明書（厳封）	出身学校所定のもの	
4	志 望 理 由 書	研究科所定の様式を A4 判用紙に片面印刷の上、作成すること。	No.2
5	推 薦 書	協定校の学長又は学部長（研究科長）が作成したもの。	No.3
6	入 学 確 約 書	本研究科所定の様式を A4 判用紙に片面印刷の上、作成すること。	No.4
7	あ て 名 票	本研究科所定の様式を A4 判用紙に片面印刷の上、出願者の住所・氏名を記入すること。	
8	検定料 30,000 円	本研究科所定の用紙（ <u>本学に請求して取り寄せること。</u> ）を用い、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、3-3 外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 *国費外国人留学生については、検定料を必要としないが、在学する大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出すること。	
9	住 民 票	・日本に在住の者は、市町村発行の「住民票」 ・海外に在住の者は、その国の「戸籍謄本」又は「市民証明書」	

※提出書類のうち、英語以外の外国語で記載されたものについては日本語訳もしくは英訳を添付すること。

3-2 出願期間

2024年6月3日（月）～6月7日（金）

窓口での受付時間は各日とも午前9時～午後5時までとする。郵送の場合、出願期間最終日午後5時必着とする。

3-3 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料30,000円を海外の金融機関から送付すること。なお、送金には時間がかかるので早めに手続きし、必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

〈送金関連事項〉

【送金種類】 電信送金
【支払方法】 口座振替
【支払手数料】 依頼人負担
【送金金額】 30,000円
【送金目的】 検定料

〈送金先〉

【金融機関名】 青森銀行
【支店名】 親方町支店
【口座の種類】 普通
【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町19
【スワフトコード】 AOMBJPJT
【口座番号】 201-1228599
【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作
【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合、青森銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金不足となる。この場合検定料を支払ったとは、みなされないので注意すること。

※送金後、送金手続き書類の（写）を他の出願書類と一緒に提出すること。

3-4 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 （電話）0172-39-3973・3193

3-5 出願上の注意

- (1) 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。
- (2) 出願書類に不備のあるものは受理しない。記載事項に記入漏れ、誤記等のないよう十分注意すること。
- (3) 出願後の提出書類の内容変更（コースの変更）は認めない。
- (4) 出願後に現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡すること。
- (5) 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に、学務部入試課へ問い合わせること。

4. 選抜方法

入学者の選考は、入学志願票、卒業（見込み）証明書、成績証明書、志望理由書、協定校の学長又は学部長（研究科長）の推薦書、入学確約書で行う。

5. 合格発表

合格者の受験番号を下記により発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送する。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

- (1) 日時 2024年7月18日（木）午前10時（予定）
- (2) 方法 弘前大学入試情報ホームページに掲載
URL : <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>

6. 入学手続等

(1) 入学手続については、合格者に別途通知する。

(2) 入学料について

入学料 282,000 円 (予定)

※いかなる理由があっても、納付した入学料は返還しない。

※授業料は、年額 535,800 円 (前期分 267,900 円 後期分 267,900 円) (予定) である。

授業料前期分は 5 月 31 日、後期分は 10 月 31 日までに納付すること。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となる。

また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

7. 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとする。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しない。

(2) 欧州経済領域 (EEA) に在住する者は、EU 一般データ保護規則 (General Data Protection Regulation (GDPR)) の適用を受けるため、別に手続きが必要となる。事前に下記連絡先に連絡すること。

GDPR 適用に係る手続きについての連絡先

弘前大学学務部入試課

電話 : 0172-39-3973 , 0172-39-3193

メール : jm3973@hirosaki-u.ac.jp

8. その他

(1) 身体に障害を有する者で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする者は、事前に学務部入試課へ申し出ること。

(2) 弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。

研究科案内

1 コース・分野別研究分野の研究内容

専攻	コース	分野	研究分野	研究内容	担当教員
農学生命科学	生物学	基礎生物	分子細胞遺伝学	両生類、鳥類、哺乳類等のDNA及び染色体レベルにおける遺伝的多様性の解析に関する研究	黒尾正樹 (2025年3月退職予定)
			植物分子生理学	植物分子生理学的手法を用いたラン色細菌や植物の基礎・応用的研究	大河浩
			植物生理学	植物における葉緑体分化の制御機構の研究	藤井祥
			動物生理・分子進化学	脊索動物が持つ生理機能の進化に関する研究	西野敦雄
			発生・生殖生物学	扁形動物プラナリアの生殖様式転換機構に関する発生・生殖生物学研究	小林一也
			植物細胞生物学	植物の細胞分裂と細胞分化を制御する分子機構の研究	笹部美知子
			原生生物微生物学	原生生物の細胞内共生に関する細胞生物学、生態学的研究	岩井草介
		生態環境	動物生態学	野生動物の行動・生態と生息場保全・再生技術	東信行
				水生動物の行動、生態、進化学的研究	曾我部篤
			森林生態学	森林植物の生態と保全に関する研究	石田清
			生物間相互作用学	植物や節足動物を中心とした群集における生物間相互作用およびその生態学的意義の解明	橋本洸哉
			植物分類学	植物の生活史とその進化、分類、保全に関する研究	山岸洋貴
			環境生態学	農地における生態系保全や野生動物管理	ムラノ千恵
			進化生態学	野生動物（主に小型無脊椎動物）の進化・生態学的研究	森井悠太
	動物分類学	動物（とくに昆虫）の種多様性、系統関係、分布変遷の解明	相馬純		
	分子生命科学	生命科学	分子生物学	ncRNAの構造と機能、生合成に関する研究、Functional RNomics	牛田千里
			生化学・分子生物学	翻訳の分子機構の解明、リボソーム生合成経路の研究、リボソームが関わる新規ストレス応答機構に関する研究	姫野俵太 (2025年3月退職予定)
			生化学・分子遺伝学	RNAを擬態するタンパク質の機能・構造解析、タンパク質合成異常回避システムの分子メカニズム	栗田大輔
			天然物化学	植物や微生物の生理活性物質の発見とその農業への応用	高田晃
			免疫生物学	癌の転移に関する研究、マウスの腫瘍細胞株の樹立、細胞運動の画像解析	畠山幸紀
			動物生理学	四足動物（とくに両生類）の四肢再生と皮膚再生、器官再生の分子機構の解明	横山仁
			細胞分子生物学	オルガネラ形成における膜動態の解析、微生物感染によって誘導される細胞内ストレス応答の解析	森田英嗣
		応用生命	天然物有機化学	生理活性二次代謝物の探索・合成及びその利用法の開発	橋本勝
			環境微生物学	自然界に生息する微生物に関する研究	殿内暁夫
			応用微生物学	持続可能な化学品・エネルギー生産に向けた微生物機能の解析と有用微生物の分子育種	園木和典
			生化学	ミトコンドリア電子伝達系の低酸素適応に関する研究	坂元君年
			植物生化学	植物や微生物における物質生産の機能解析と応用	濱田茂樹
微生物化学			木質・草本系バイオマスの分解に関わる微生物の代謝機能解析	樋口雄大	

専攻	コース	分野	研究分野	研究内容	担当教員
農学生命科学	食料資源学	食料開発	作物育種学	イネ遺伝資源・有用形質の遺伝解析と育種的利用に関する研究	石川 隆二
			作物生理学	イネ新品種を育成するための有用形質を支配する遺伝子の解析	Dinh Thi Lam
			作物ゲノム学	ダイズの種子着色に関する研究	千田 峰生
			植物遺伝育種学	ウリ科作物において見出される有用形質の遺伝解析と育種への利用に関する研究	田中 克典
			構成的微生物学	複数の微生物で構成されるモデル生態系の構築と微生物間相互作用に関する研究	柏木 明子
		生産環境	昆虫生理学	昆虫の発育・変態の分子レベルでの研究	金 児 雄
				昆虫の内部及び外部環境応答遺伝子の研究	管 原 亮 平
			植物病理学	菌類の多様性と系統分類に関する研究	田中 和 明
				ウイルス・ウイロイドの病原性と宿主植物の防御応答に関する研究	直 井 崇
			土 壤 学	強酸性土壌における作物-土壌の相互作用に関する研究	松 山 信 彦
	国際園芸農学	果樹園芸学	リンゴの単為結果に関わる遺伝子及び花芽形成遺伝子に関する研究	田中 紀 充	
			リンゴ生産管理技術の開発研究, リンゴ園の気象生態に関する観測研究	伊藤 大 雄 (2025年3月退職予定)	
			バラ科果樹の果実品質評価及び野生種の育種的利用に関する研究	登 島 早 紀	
		家畜飼養学	初期成長期の栄養制御による家畜の生産能力の向上並びに新規飼料資源の機能性評価に関する研究	松 崎 正 敏	
		家畜生理学	ニワトリを中心とした動物の味覚受容機構の生理学的研究	川 端 二 功	
		農業機械学	農産物の非破壊品質計測・情報技術の農業への応用に関する研究	張 樹 槐	
			リモートセンシングの農業精密管理への応用に関する研究 農産物の品質計測・産地判別・鮮度評価技術などの開発研究	叶 旭 君	
		蔬菜園芸学	蔬菜の発育生理, 品質向上及び育種, 組織培養に関する研究	前 田 智 雄	
		花卉園芸学	花卉の繁殖・育種及び野生草本の利用や保護・保全	本 多 和 茂	
		作物生態生理学	作物の環境ストレスに対する耐性遺伝資源の探索とその耐性メカニズムに関する研究, 植物による放射性セシウム吸収除去法の確立	姜 東 鎮	
		作物学	地球環境変動に対するイネなどの主要作物の応答に関する生理・生化学的研究	小 早 川 紘 樹	
		リサイクル工学	農林産廃棄物等のリサイクル技術に関する研究	廣 瀬 孝	
	地域環境工学	農業土木・農山村環境	水利環境工学	国内外の農山村における水資源及び水環境に関する研究	丸 居 篤
			水利施設工学	水利施設の水利設計及び魚道の水利と淡水魚の挙動に関する研究	矢 田 谷 健 一
			農地環境物理学	積雪地域の普通畑と樹園地における窒素循環機構の解明	遠 藤 明
			農地環境保全学	農地土壌をめぐる水・熱動態の解明・予測及び農地土壌の保全に関する研究	加 藤 千 尋
			地域環境システム学	農地及び農業生産基盤を支える各種施設の情報利用と管理・運用	加 藤 幸
			基盤造構学	農業施設構造物の力学的安定と性能機能評価に関する研究	森 洋
			地域環境利用学	地中熱及び地下水を利用した農業に関する研究	森 谷 慈 宙
			地域環境計画学	環境と調和し活力ある農村空間を実現するための整備手法	藤 崎 浩 幸
				農村地域での集落機能維持や自然共生に関する社会科学研究	岸 岡 智 也
	山地環境保全学	山地における土砂災害防止・流域環境保全や利用についての研究	郷 青 穎		

2 課程修了の認定及び学位

本研究科に2年以上在籍して、授業科目32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（農学生命科学）の学位が授与されます。また、社会人入学者の場合、研究指導を受ける教員の承認のもとに、修士論文に代えて研究成果報告を選択することができます。

3 社会人入学者に関する長期履修学生制度などについて

学生が職業を有しているなどの理由により、研究科の標準修業年限の2年を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する申し出があった時には、その計画的な履修を認めることができる制度を導入しています。

この制度が適用される学生は、社会人で職業を有している者の事情により4年を限度として在学することができます。

なお、長期履修学生として申請できる者は、入学手続者及び1年次在学中で標準年限で修了することが困難であると判断される者です。許可された場合の授業料の年額支払いは、次のとおりです。

大学が定める授業料年額(535,800円)×2年÷長期履修期間(3又は4年)

また、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を受けることができます。

4 海外協定校からの留学生に対する授業料等の免除等措置について

海外協定校からの留学生に対し、本人の修学を支援するとともに本学と海外協定校との交流実績を高め、もって本学の国際化の推進に資することを目的とした授業料等の免除等措置を行っております。

① 対象者及び免除等

海外協定校から本学の大学院課程に入学した留学生 授業料等の免除

② 申請・許可

所定の様式による申請書を提出していただきます。申請書の提出時期は、当該学期ごとに定める時期とします。

申請があった留学生について、当該学期ごとに、予算の範囲内で全額又は半額を免除します。

2025年度春季入学者については、全額又は3分の2の額もしくは3分の1の額になります。

詳細については担当（弘前大学国際連携本部）までお問い合わせください。

担当窓口：〒036-8560

青森県弘前市文京町1番地 弘前大学国際連携本部

電話 0172-39-3109

平日のみ 9:00～17:00